

何度でも学びたい量的研究に必要な基礎知識

臨床現場での疑問(クリニカルクエスチョン)は、科学的に答えられる問題(リサーチクエスチョン)に翻訳し、量的なデータから答えを探索・検証する研究によって解決することが必要です。

研究の理解・適切な実施のためには、リサーチクエスチョンに対し、量的データをどのような研究デザインによって得るか、得られた量的データに対してどのような統計手法を選択するのか、を統計学的観点から理解することが重要です。

本セミナーでは、研究デザインや統計学の基礎知識を学ぶことにより、受講される方々の研究の質が向上することを期待します。(新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、今年度はオンラインで開催します。)

対象者	論文投稿を目指す看護系大学の学生や教員、看護師、保健師、栄養士等 (関心のある方は、どなたでも受講できます)	
開催日時	2020年11月21日(土) 10:30~12:00、13:00~14:30 (裏面プログラム 講義①及び②) 11月28日(土) 10:30~12:00、13:00~14:30 (" 講義③及び④) 12月5日(土) 10:30~12:00、13:00~14:30 (" 講義⑤及び⑥) 3日間受講することにより、量的研究の研究デザインから統計まで学ぶことができます。	
プログラム	裏面をご覧ください。 3日間(全6講義)の受講となります。1日(1講義)のみでの受講はできません。	
本セミナーの特徴	・ライブ配信を視聴できない方や、復習をしたい方は、講義後8日間オンデマンド配信を視聴できます。 ・ライブ配信では講義後、音声での質問が可能です。 (質問は、講義内容に関するものに限る。)	
申込方法	当協会ホームページに掲載している申込書にご記入の上、FAX又はメールにてお申し込み下さい。 FAX:03-5623-4125 メール:kenshu@hws-kyokai.or.jp ※お支払いは、2020年10月30日(金)までお願いいたします。 ※お申込み後のキャンセルも、2020年10月30日(金)までにご連絡下さい。	
受講料	11,000円(税込)	
お支払い方法	「請求書払い」又は「Squareを利用したクレジットカードでのお支払い」 ・「請求書払い」・・・請求書到着後、2020年10月30日(金)までにお支払い下さい。 ・「Square支払い」・・・請求データ受信後、速やかにお支払い下さい。 ※Squareについて・・・ https://www.smbc.co.jp/kojin/furikomi/square/ 11月6日(金)までにご入金の確認ができない場合は、キャンセル扱いとなります。	
申込み締切	2020年10月30日(金)	
定員	100名程度(定員になり次第〆切)	
配信方法	ビデオ会議ツールZOOMを使用したライブ配信セミナーです。 Zoomについては、Zoomのホームページにてご確認ください。 動作環境・・・ https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023 動作確認・・・ https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083	
その他	受講者には、講義終了後「修了証」をお送りいたします。	

講師

米倉 佑貴
 聖路加国際大学大学院
 看護学研究科
 看護情報学分野 助教

上村 夕香理
 国立国際医療研究センター
 臨床研究センター
 生物統計研究室 室長

川原 拓也
 東京大学医学部附属病院
 臨床研究推進センター 助教

上村 鋼平
 東京大学大学院情報学環
 生物統計情報学 特任講師

篠崎 智大
 東京理科大学 工学部
 情報工学科 講師

坂巻 顕太郎
 横浜国立大学
 データサイエンス推進センター
 特任准教授

詳細はホームページ内、医療職のための統計セミナーをご覧ください。 <https://www.hws-kyokai.or.jp/seminar/kango.html>

プログラム

配信日	時間	講義科目（講師名）
11/21 （土）	10:30 ～ 12:00	講義① 量的研究のリサーチクエストと研究方法（米倉 佑貴） <p>量的研究から意義のある成果を得るためには良いデータを得ることが不可欠で、そのためには良い研究計画を立てることが重要です。データ解析はデータを集めたあとで見直すこともありますが、データ収集のほとんどはやり直せません。この講義では量的研究の進め方、計画の立て方を概観し、データを取ったあとで後悔しないためのポイントをみていきます。</p>
	13:00 ～ 14:30	講義② 研究デザイン（上村 タ香理） <p>“知りたいこと（クリニカルクエスト）”をデータから評価するためには、研究開始前に研究の設計図を適切にたて、研究デザインを組むことが重要となります。この講義では、様々な研究デザインやそれぞれの利点・欠点、気を付けるべき落とし穴等について講義します。</p>
11/28 （土）	10:30 ～ 12:00	講義③ 記述統計（川原 拓也） <p>適切にデザインされた研究で収集されたデータは、記述統計・推測統計の道具により整理されることで臨床に還元されます。この講義では、記述統計に焦点をあて、それぞれのデータが分類される型ごとに、データの要約方法の基礎を学ぶことを目的とします。さらに、要約結果を提示するための図表を作成する際のポイントや具体例を紹介します。</p>
	13:00 ～ 14:30	講義④ 推測統計（上村 鋼平） <p>データが何らかの傾向を示した際に、偶然そのような傾向が得られたのか、真の傾向は何なのか、を知りたいということがあります。推測統計を用いると、データ（結果）の不確実性を考慮した上で、「2群の間に差がある」などの結論を導くことが可能になります。この講義では、推測統計のしくみと使い方について、具体例によるイメージを持ちながら、基礎から学んでいきます。</p>
12/5 （土）	10:30 ～ 12:00	講義⑤ 回帰分析（篠崎 智大） <p>回帰分析の知識を身に着けることで、読める論文や実施できる研究の幅が広がり、一步踏み込んでデータに向き合うことができます。この講義では、「回帰」とは何か、回帰を「モデル」で表すとはどういうことか、からはじまり、最小限の数式から、気を付けるべきポイントをなるべく正確に理解することを目的とします。</p>
	13:00 ～ 14:30	講義⑥ 検定（坂巻 顕太郎） <p>不適切な方法で計算されたp値から研究の結論を導くことに対する批判が高まっています。p値は検定の結果として得られるものですが、なぜ検定が必要なのか、どのような検定方法を選択すべきなのか、検定結果を適切に解釈するとはどういうことなのか、を理解しなければ、適切に研究結果を解釈することはできません。この講義では、How toではなく、検定の目的と適用上の注意点を理解することを目的とします。</p>

○各日とも2講義ずつライブ配信

※開始10分前（11/21は、受講上の注意事項の説明のため、20分前）までにZoomセミナールームにお入り下さい。

○3日間（全6講義）の受講となります。1日（1講義）のみでの受講はできません。

○ライブ配信を見逃した方、復習したい方は、オンデマンド配信（講義後8日間）も視聴できます。

○講義後、音声での質問が可能です（質問は、講義内容に関するものに限らせていただきます）。